

新型コロナウイルス感染症

PCR 検査を受けた方へ

検査結果が出るまでにできること

このリーフレットは、検査結果を待つ1~2日間にできることをまとめています
検査結果が出るまでは、外出を控え、これからに備えましょう

検査結果によって過ごし方が変わります

知っておこう

陰性だった場合：**※感染していない訳ではありません。**PCR検査は、3割前後は感染しているのに陰性になる可能性がある検査です。たとえ検査の結果が陰性であっても、一定の期間(おおむね10日~14日間)は発症する可能性があるため、外出をせずに、体調を観察してください。

陽性だった場合：入院または宿泊施設で過ごします。症状によって医師が判断します。症状がなく、やむを得ない事情がある場合は、自宅待機(療養)となります。期間は、原則として発症日から10日間ですが、症状によって延長となることがあります。

陽性だった場合、以下の点に備えましょう

保健所からの聞き取り調査に備える

備えよう

電話を受けたときに、慌てずに答えられるように、以下のことをメモしておきましょう。

- いつから、どのような症状があったか
- 検査を受ける2週間前までの間に、会食や換気の悪い場所で過ごしたこと、何らかの症状のある人とマスクを外して接したこと等があったか
- 持病と処方されているお薬、かかりつけ医の連絡先
- 緊急連絡先

病院や宿泊施設での療養に備える

備えよう

入院または宿泊施設での療養となる場合は、移動方法や日時について保健所から連絡があります。※流行状況によっては自宅待機(療養)になる場合があります。

準備するもの：現金、保険証、くすり、おくすり手帳、日用品など(詳細は裏面)
2週間くらいは家に戻れないと考えて、必要な数を準備します。

必要な費用：入院治療・宿泊療養に要する医療費については、必要な費用を公費で負担します。

病院または宿泊施設で療養するときに持参するもの

現金、保険証、くすり、おくすり手帳、スマートフォン・携帯電話(持っている方)及び充電器、マスク、下着、タオル、歯ブラシ・歯磨き粉・コップ、シャンプー・リンス、ボディソープ、眼鏡・コンタクト、筆記用具 など

病院でも宿泊施設でも、部屋の外に出ることはできません。建物の外に出かけたり、宅配便を受け取ったりすることもできません。洗濯は、洗面所などでできる程度に限られます。収納スペースも限られます。



病院に入院する場合

- 服用中のくすり
- 寝間着(必要時)
- タオル(多めに)
- ボックスティッシュ
- 履き物(脱ぎ履きしやすいもの)
- 携帯電話(必要時)



宿泊施設で療養する場合

- 服用中のくすり3週間分(足りない場合はかかりつけ医に電話で相談しましょう)
 - 部屋着、寝間着などの着替え、タオル類
 - 洗濯用洗剤
 - 本、ゲームなど時間をつぶせるもの
- ※宿泊施設には看護師等の医療職者が常駐しており、健康に関する相談をすることができます

自宅待機(療養)の際の注意点

自宅待機(療養)が解除されるまで、外出は禁止です。自宅にいても普段と同じ生活はできません。

- ・食料や日用品はご自身で準備することになりますので、どのように調達できるか考えておきましょう。
- ・急に体調が悪くなることがあります。念のため入院の準備をしておきましょう。
- ・重症化が心配な方は、呼吸状態の変化を知るためのパルスオキシメーターを準備しても良いでしょう。
- ・同居家族がいる場合は、できるだけ接触せずに過ごす方法を考えましょう。

【参考】

「家庭内でご注意いただきたいこと」
(厚労省)



療養終了後の注意点

- ・目安は「発症後10日」かつ「症状消失後72時間」です(長いほうが感染リスクは減ります)。
- ・療養期間終了時のPCR検査は、国として推奨しておらず、保健所でも対応できません。陰性証明のために医療機関を受診することはお控えください。
- ・就業制限は療養期間終了とともに解除され、「感染症者届出受理通知書」と「就業制限解除通知書」が保健所から発行されます。
- ・実際の職場復帰のタイミングについては、事業所とご相談してください。
- ・心ない差別や偏見は、厳に慎みましょう。「ただいま」や「おかえり」と言える、みんなが暮らしやすいまちを作っていきましょう。

【参考】

シトラスリボンプロジェクト IN とちぎ
(facebook)

